

令和の新年号にも、いつの間にか、なれましたね。残念ながら、絵画の業界は、相変わらずの苦しい状況が続いています。みんなが、絵を買おうと言う晴れやかな気持ちになれないからでしょう。日本経済は堅調と発表されていますが、何となく先行きに不安を抱いています。積極的に、何かをしようとの行動より、少し様子を見ようとの気持ちが強いです。しかし、日本の人たちは、絵画が大好きです。先日も、大村美術館さんに寄りましたら、観光バスが次々に来ます。中年のおじさん・お婆さんが、狭い館内に溢れます。皆さん熱心に、「アッ、これ堀文子よね。」「ヘー、小杉小二郎って作家なんだ。」と、賑やかです。



うね。先生は、貧乏ではないの趣味として、自前で集めた

作品ばかりなのです。何千万もする作品は、ありません。私なんか画商の癖で、

作品毎に付け値をしてしまいます。ほぼ全作品、小画商の私でも、扱える範囲です。普通のお宅でも、数点飾れる作品なのです。潜在的な顧客は、沢山居るのです。色々工夫して、ガンガロー！！

全く、庶民的な美術館なので、人気があるのでしょうか、大金持ちでもありません。全くの自分作品たちです。と、言う事は、たいいていの人にも買える

作品毎に付け値をしてしまいます。ほぼ全作品、小画商の私でも、扱える範囲です。

普通のお宅でも、数点飾れる作品なのです。潜在的な顧客は、沢山居るのです。



ドートルローさんが、やっとリトグラフを制作してくれました。以前から、何回も頼んでいました。しかし、「今は、リトグラフのマーケットは難しいだろ。」「それに、昔からの気に入りの工房も無くなったしなあ」と、乗り気がありませんでした。しかし、今回突然に、メールで「マコト、リトを制作するから、パリに来ないか。」と言ってきました。そして、先週、送ってきました。ピエールは、本当に、心暖かでスマートな人柄です。私には、尊敬する兄貴の様な存在です。彼は、モンブランを遠景に、レマン湖を見下ろす森の中の大きなシャレーで暮らしています。小さく可愛い村には、多くの芸術家達が住んでいます。冬はスキー場がオープンします。洒落たレストランで、ワインしながら、絵や小説や人生(女性)などのおしゃべりを終日します。飽きると、10分ばかり車で山を下りて、カシニョールのお屋敷に押しかけます。カシニョールは、彼にとっては、3歳年上の兄貴分です。毎週のように、二人は食事を一緒にしています。ドートルローは、冗談ばかり言うので、カシニョールは、笑い転げます。第二期エコール・ド・パリの作家で、健在な大切なお二人です。 **販売価格 180,000 円(税別) 20 部限定特価、65,000 円**



熊谷守一昔から大好きでした。旧自宅の美術館は、小さくて、作品も多くありません。しかし、ひょっこり現われるのではの雰囲気が残っています。本画自体は、多く制作していませんが、請われて、多くの水彩や書画を残しています。しかし、一寸首を傾げる物が多く、扱いにくかったです。近年は、しっかりした鑑定が行われているので安心です。まあ、お金もなかったもので、版画を扱う様になりました。しかし、版画も、きれいな後刷りが出て、その内に、榎さんの承認のない物まで出て、困惑させられました。そこで、レゾネ掲載作品だけを扱うことにしました。根強いファンが居て、まあ少々の商いです。しかし、近年、人気が出て高値になって、仕入れしにくくなりました。『猫』は、大人気で、業者間値段で、50万超え。販売現場を、チラして見たら、200万！一寸ねえ。後刷りでも、著作権の確保された余り高くない作品の制作を願って居ます。美術館の維持の費用にもなりますし。



熊谷守一『水墨淡彩画鑑定登録作品集』第七集 刊行されました。



クロネコさん達は、確かに大変です。朝早くから夜まで走り回っています。雨の中でも、荷物にはビニールを被せても、自分達はカップも着ないで濡れネズミです。値上げは、やむを得ないでしょうね。現在は、宅急便さんがいなかったら、私たちのお仕事が成り立たなくなります。申し訳ございませんが、今後 **35,000 円以下の場合には、送料着払い**にて、お願いします。15~20%利益率では、送料に、梱包材料費や人件費を考えると、ゼロどころかマイナスです。お願いします。ペコペコ。